

## 2015年第2回開倫塾読解力コンテストを活用し、学力の基礎を身に着けよう

開倫塾

塾長 林 明夫

### 1. はじめに

- (1) 開倫塾で学ばれている多くの塾生の皆様は、学校成績の向上と、希望校合格を目指して開倫塾に入塾なさっておられます。そこで、開倫塾では、塾生の皆様お一人お一人がどうしたら学力を向上させ、学校成績の向上と、希望校合格を果たすことができるかを、創業以来 36 年間考え続け、実行してまいりました。
- (2) 的中予想問題などの定期試験対策、夏休みからほぼ毎日行われる入学試験対策、長時間自己学習の奨励、英語検定・漢字検定・数学（小学生は算数）検定の全員受験の取り組みなど、様々な取り組みを行ってまいりました。
- (3) しかし、多くの試験、とりわけ入学試験は、全科目ともかなりの分量の文章を決められた試験時間の中で正確に読み込み、正解を出さなければなりません。そのため、各教科の学習と並行して「読解力」を身に着けなければ、なかなか学力向上には結び付きません。
- (4) そこで、開倫塾では 2015 年度から読解力コンテストを実施し、読書と新聞、辞書を活用して、すべての教科の基礎となる読解力の大幅向上を図っております。次のような目的で行われる開倫塾の 3 つの読解力コンテストの趣旨を十分にご理解の上で活用し、開倫塾に在籍する間に、読書と新聞、辞書を活用した読解力アップの方法を身に着け、これからの学校生活や社会での生活、人生にお役立ていただきたいと希望します。

### 2. 「学力」とは何か。「学力」を身に着けて得られることは何かを考えよう。

- (1) 開倫塾では、「学力」とは「主体的に学ぶ力」、自分から進んで学ぶ力と考えます。
- (2) このような意味での「学力」を身に着けて得られることは、次の 2 つであると考えます。
  - ① 多様な選択肢のある人生を歩むこと  
(学力が身に着くと、人生の選択肢が多様になります)
  - ② 正常に機能する社会の形成に直結すること  
(国民に学力が身に着くと、社会が正常に機能し、持続可能になります)

### 3. 「学力」を身に着けるための具体的方法とは何かを考えよう。

- (1) 「学力」を身に着けるための具体的な方法は、次の 3 つです。
  - ① 「自覚をもって学ぶ」こと
  - ② 「学び方を学ぶ力」を身に着けること（具体的には「学習の 3 段階理論」を身に着けること）
  - ③ 「ハードな長時間自己学習を行う力」を身に着けること
- (2) 「学校成績の向上」と「希望校合格」のためにすべきことは、次の 2 つです。
  - ① 定期試験でよい点数を取ること（100 点満点）
  - ② 模擬試験でよい点数を取ること（希望校の基準偏差値）

4. 各教科の学習の前提となる学力とは何かを考えよう。

(1) 3つあります

- ①語彙力…文字や語句の意味を知り、用いる力
- ②読解力…文章を読み解く力
- ③自分で考える力、批判的思考（クリティカル・シンキング）能力

(2) この3つを身に着けるのに役立つものは

- ①辞書の活用
- ②読書の活用
- ③新聞の活用

5. 辞書の活用の仕方を考えよう。

(1) 一番目の「語彙力（言葉の力）」を身に着けるためには

- ①わからない言葉が出てきたら、気持ちが悪いと思い、辞書を用いて調べること
- ②調べた内容は、「意味調べノート」に書き写すこと
- ③「意味調べノート」に書き写した言葉とその意味は、その場で「音読練習」と「書き取り練習」をして正確に覚えること

(2) ①この「意味調べノート」をいつも1ページから読み返すと、「語彙数」（身に着けている言葉の数）がどんどん増え、学力向上に直結します。

②このために行うのが、開倫塾の「意味調べノートコンテスト」です。

6. 読書の活用の仕方考えよう。

(1) 二番目の「読解力（文章を読み解く力）」を身に着けるためには

- ①本を、じっくり、ていねいに毎日読むこと。著者と時空（時間・時代と空間・場所）を超えた対話をするようなつもりで、本を読むこと
- ②自宅にある本や、学校の図書室や市・町の図書館の本を、少しずつでも毎日読むことをおすすめします。
- ③本を、じっくり、ていねいに毎日読み、気に入った語句や文章に出会ったら、たとえ一行、一文字でもよいから「書き抜き読書ノート」に書き抜くこと（日付、著者、書名、出版社名も書き写してください）

(2) ①「書き抜き読書ノート」は、いつも1ページから読み返してください。

②このような「読書」は、学校の勉強や、テストの問題を正確に読み解くときに不可欠な読解力と同時に、しっかりとした考え、自分を振り返る力、思慮深さを育みます。筋道だった考え方、論理的思考能力が身に着きます。人格の基礎も築かれます。

③このために行うのが、開倫塾の「書き抜き読書ノートコンテスト」です。

7. 新聞の活用の仕方考えよう。

(1) 三番目の「自分で考える力、批判的思考（クリティカル・シンキング）能力」を身に着けるためには

- ①新聞を、毎日一面からなめるように読むことが効果的です。
- ②興味のある記事は、切り抜いて「スクラップブック」に貼り付けること。「書き抜き読書ノート」に書き抜くこと（日付、新聞名）

- ③時間があったら、切り抜いた記事に自分の考えを書き記すこと
- (2)①「スクラップブック」を時々整理して、自分の考えを深めること
- ②新聞を毎日読むことは、読書と同じように読解力を身に着けることに役立ちます。
- ③このために行うのが、開倫塾の「スクラップブックコンテスト」です。

## 8. 読解力コンテストに参加し、読解力を身に着けよう

- (1)開倫塾では「第2回読解力コンテスト」として、次の3つのコンテストを行います。
- ①「意味調べノートコンテスト」
- ②「書き抜き読書ノートコンテスト」
- ③「スクラップブックコンテスト」
- (2)期間、表彰
- ①この3つのコンテストを、12月18日から来年の3月17日までの3か月間行います。
- ②開倫塾の先生方から十分に指導していただき、このコンテストにご参加ください。
- ③コンテスト終了後には、表彰をいたします。

## 9. <保護者の皆様へお願い>

- (1)私立中学校入試・高校入試・大学入試は、2020年の教育改革に向け、今後、大幅に改革されていきます。
- ①とりわけ大学入試の改革は50年ぶりといわれるほどの大改革です。どのように改革されるか、この大改革に備えて何をしたらよいのかなどについて、十分な情報収集をお願いいたします。
- ②開倫塾では、2016年度は高校部のさらなる充実とともに、高校部の塾生に対する対応策の強化を行います。
- ③これに加えて、2016年度は、塾長の私が講師となり開倫塾の小学部・中学部・高校部のすべての保護者の皆様と塾生の皆様を対象とした教育情報講演会を各地で開催、これからの大学入試改革、教育課程改革、大学をはじめとする高等教育機関の大改革の状況、それらに備えるにはどうしたらよいかなどを詳細にご説明いたします。ご家族の皆様とご一緒にぜひご参加ください。
- (2)最後に、もう一度申し上げます。
- ①全教科の学力向上のすべての基本は「読解力」です。
- ②テキストや問題文はすべて文字や文章で書かれていますので、そこに書いてある内容が何であるかが正確に読み解けなければ、学校の成績を上げることも、希望校への入学もかないません。
- (3)①開倫塾では、通常授業や年3回の講習会で教科の学習指導を熱心に行っております。
- ②これと同時に、塾生の皆様が開倫塾に在塾する間に、読解力の前提となる語彙力を大幅に増やすための「音読」の活用と、文章を読み解く読解力を大幅に増やすための「読書」と「新聞」の活用を創業以来36年間行っております。
- ③この3つを活用した読解力アップを促進するための取り組みが、12月18日から来年の3月17日までの3つのコンテストです。
- ④年末から新年、3学期にかけてが、3大検定への挑戦と読解力向上に取り組むのに最もよい時節です。このことをご理解の上、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

宇都宮大学大学院工学研究科客員教授